

マーケットの動き（2020年1月14日～1月17日）

先週の国内株式市場は、小幅な値動きで底堅く推移しました。米国が中国の為替操作国認定解除を発表したことや、中国の経済指標が改善したことなどの好材料を受けて、堅調に推移しました。業種別では、鉄鋼、輸送用機器、医薬品が騰落率上位に挙がりました。また規模別では大型株優位が継続しましたが、スタイル別ではバリュー株とグロース株に大きな差はありませんでした。

投資環境見通し（2020年1月）

国内株式相場は高値圏を維持しつつ、レンジ内の動き

米中貿易協定で「第一段階」の合意に達し、英国では総選挙を経てEU（欧州連合）離脱に対する過度な先行き不透明感が後退する中、株式相場は財政政策の効果や企業業績の底打ちに対する期待もあり、高値圏を維持するとみています。一方、株価の割安感が薄らいでいることから、レンジ内での動きにとどまると予想しています。

	1月17日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	1,735.44	0.02%	▲0.67%	10.72%	12.46%
日経平均株価	24,041.26	0.80%	▲0.10%	11.98%	17.84%

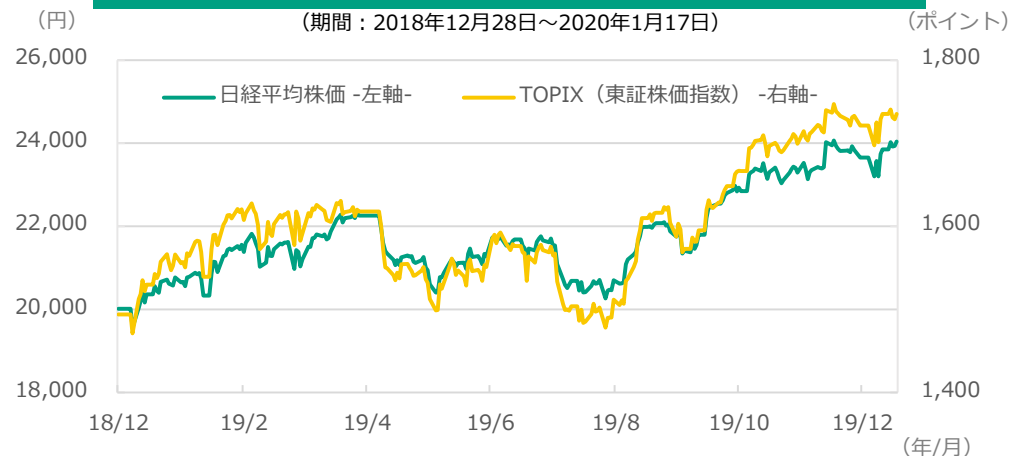
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

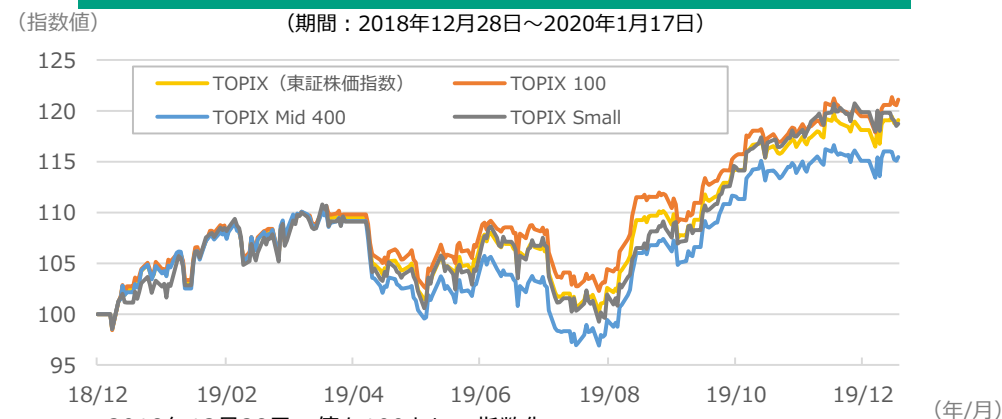
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202001_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなされるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日経平均株価、TOPIXの推移



TOPIX規模別指数の推移



※2018年12月28日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成